

製品安全データシート

製 品 名 : クリーンアワーGS NET 120ml

1. 製品及び会社情報

会社名 : 日本卓球株式会社
住 所 : 東京都千代田区神田和泉町 1-2-8
電話番号 : 03-3862-0911
F A X 番号 : 03-8862-0920
担当部門 : 企画室

2. 組成、成分情報

物質の特定 単一製品・混合物の区別 : 混合物 (エアゾール製品)

成分情報及び含有量 :

化学名	官報公示整理 番号 化審法	CAS No.	安衛法通 知対象物	PRTR法 報告物質	含有量 (質量%)	
内容液	ポリジエチレングリセロール	7-97	9004-95-0	対象外	対象外	3以下
	精製水	—	7732-18-5	対象外	対象外	80~90
	その他	—	—	対象外	対象外	2以下
噴射剤	プロパン	対象外	74-98-6	対象外	対象外	3以下
	ブタン	対象外	75-28-5, 106-97-8	該当	対象外	5~10

3. 危険有害性の要約

分類の名称 : 高圧ガス、可燃性ガス

有害性 : 内容液は消防法 非危険物に該当する。

内容液の皮膚への刺激はほとんど無いが、眼、呼吸器及び皮膚を刺激するかもしれない。
噴射剤は若干の麻酔作用を示す。

危険性 : 噴射剤の液化石油ガス (プロパン) は引火点 -90°C であり非常に引火しやすい。
蒸気は空気よりも重いので、低い所に滞留する。

環境影響 : 現在のところ有用な情報なし。水中の環境に対し悪影響を及ぼすかもしれない。

4. 応急処置

目に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分間以上洗眼した後、眼科医の処置を受ける。

洗眼の際、まぶたを指で良く開いて眼球、まぶたの隅々まで水が良く行きわたるように洗う。

皮膚に付着した場合 : 多量の水及び石鹸で洗い流す。症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所へ移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ1~2杯の水又は牛乳を飲ませる。直ちに医師の手当てを受ける。
被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消 火 剤 : 水 粉末 炭酸ガス

特定の危険有害性 : 火災の現場にエアゾール容器があると破裂する恐れがある。

消火方法：消火活動には距離を十分にとること。

初期の火災には、粉末 炭酸ガス 泡 砂等の消火剤を用いる。

遠隔から大量放水する。

高温にさらされる製品容器に水をかけて冷却する。

消火を行う者の保護：消火作業は、自呼吸式呼吸器等の保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

多量の水で希釈後、排水する。

着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

衝撃、静電気にて、火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

漏れ発生時(噴出時)には風上より処置を行うようにし、容器の露出部は上向きにし、完全にガスを噴出してから処置をする。

換気、拡散を十分に行う。

少量の場合には、土砂、おがくず、ウエスなどに吸収させ、密閉式の空容器に回収する。

多量の場合には、露出液を密閉式の空容器にできるだけ回収し、回収できなかった場所へは大量の水で洗い流す。この場合は、河川等に排出されないように注意する。

付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。

7. 取扱い及び保管上の注意

高压ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため下記の注意を守ること。

取扱い：火気と高温に注意。

炎や火気の近くで使用しないこと。

火気を使用している室内で大量に使用しないこと。

火の中に入れていないこと。

取扱いは換気の良い場所で行うこと。

通風をよくし、蒸気が滞留しないようにする。

保管：高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や、火気等の近くなど温度が40℃以上となるとところに置かないこと。

子供の手の届かないところに保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

成分	管理濃度 (ppm)	許容濃度 (ppm)	
		日本産業衛生学会	ACGIH (TLV-TWA)
内容液	ポリリンエチレセフェーテル	未設定	未設定
噴射剤	プロパン	1000	2500
	ブタン	1000	800

設備対策：屋内作業場での使用の場合は局所排気装置を設置する。

取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸器の保護具：通常取扱では特に必要はない。

眼の保護具：通常取扱では特に必要はない。

手の保護具：通常取扱では特に必要はない。

皮膚及び身体の保護具：通常取扱では特に必要はない。

9. 物理的及び化学的性質

[内容液]	外	観：透明液体	蒸気圧：水に準ずる
	融	点：0℃	密度：0.997 (20℃)
	沸	点：100℃	溶解性：水に易溶
	揮発	性：—	

[噴射剤]

プロパン	ブタン
外 観 : 無色気体	無色気体
比 重 : 0.501g/cm ³	0.557~0.579g/cm ³ (20°C)
蒸気比重 : 1.55	2.07 (空気=1)
蒸気圧 : 0.75MPa (20°C)	0.12~0.21MPa (20°C)
沸 点 : -42.04°C	-0.5~-11.7°C
融 点 : -187.69°C	-138.4~-159.6°C
引火点 : -90°C	-72~-81°C
発火点 : 493°C	405~550°C
爆発限界 : 2.2~9.5vol%	1.8~8.5vol%
溶解性 : 水に不溶	水に不溶

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性 : 通常の取扱いにおいては安定である。

11. 有害性情報

[内容液]

組成物質に関する有害性情報特になし。

原液に含まれるポリオキシエチレンセチルエーテルの有害性情報を参考のために記す。

ポリオキシエチレンセチルエーテル

皮膚腐食性 : 記載すべき情報はない。

皮膚刺激性 : ヒト、200人、60%水溶液、クローズドパッチ、72時間後刺激なし。

眼刺激性 : ウサギ、Draize法、60%水溶液、洗眼及び非洗眼刺激なし。

急性毒性 (経口) : LD₅₀ ラット、雄 : 3.51g/kg 以上、雌 : 3.95g/kg 以上

がん原性 : IARC : 認定されていない。

NTP : 認定されていない。

産衛学会 : 認定されていない。

変異原性 : 記載すべき情報はない。

感作性 : 皮膚刺激性のテスト7日後、同部位に同様のテスト、72時間後異常なし。

筋肉内投与による毒性 : ウサギ、1、5%の0.9%NaCl含有水溶液1ccを大腿部筋肉に注射、24時間後屠殺、注射部を開いて観察、褐色変性、出血壊死

[噴射剤]

プロパン

急性毒性 : 10,000ppm/短期暴露何ら症状もなし
100,000ppm/短期暴露数分吸入後にめまい

刺激性 : 皮膚 長時間触れると炎症、湿疹を起こす
目 粘膜等を刺激する

その他 : 若干の麻醉性有り

ブタン

急性毒性 : 吸入 マウス LC₅₀ 680mg/l (約26%) 2時間
ラット LC₅₀ 658mg/l (約25%) 4時間

刺激性 : 皮膚 長時間触れると炎症、湿疹を起こす。

目 粘膜等を刺激する。

その他 : 若干の麻酔性有り

(注) LD₅₀ : 半数致死量 (mg/kg)

LC₅₀ : 半数致死濃度 (ppm)

1 2. 環境影響情報

[内容液]

ポリオキシエチレンセチルエーテル (参考: POE アルキルエーテル C₁₈15EO) : 魚毒性: TLm10 (和金)

[噴射剤]

現在のところ知見なし。

1 3. 廃棄上の注意

- ・必ず中身を使い切り、中身がないことを確認して廃棄する。
- ・廃棄は、各自治体の指示に従って行う。

1 4. 輸送上の注意

国 連 分 類 : (クラス2) 高压ガス

国 連 番 号 : 1950

注 意 事 項 : 取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。

容器からの漏れがないことを確認し、運搬中荷崩れで転倒、落下による容器の損傷が起こらないように十分な手段を講じる。

陸 上 輸 送 : 消防法、労働安全衛生法、他法令の輸送について定めるところに従う。

海 上 輸 送 : 船舶安全法に定めるところに従う。

航 空 輸 送 : 航空法に定めるところに従う。

1 5. 適用法令

高压ガス保安法 : 適用除外 (液化ガス 可燃性ガス)

消 防 法 : 非危険物

労働安全衛生法 : 通知対象物質 (ブタン)

P R T R 法 : 該当せず

船 舶 安 全 法 : 危険物 (高压ガス)

航 空 法 : 高压ガス

1 6. その他の情報

記載内容の取り扱い:

- ・ここに記載された情報は現時点で正確な物と考えられますが、危険・有害性の評価は必ずしも完全な物ではなく、新知見によって変わることがあります。

また、需要家の皆様の使用条件は弊社の管理外の事項となりますので、取り扱いには十分注意して下さい。

引 用 文 献 :

- ・製品安全データシートの作成指針 日本化学工業協会
 - ・化学物質等法規制便覧 化学工業日報社
- その他として、各原料メーカーのMSDSに準拠する。